

# 岩手医科大学 第42回 市民公開講座

テーマ： 少子高齢化社会を支える健康づくり

ー 日々の生活から全世代の健康を考える

【期間】 令和6年 8月1日(木)～8月3日(土)

【会場】 岩手医科大学矢巾キャンパス 大堀記念講堂

## 【開講式】

8月1日(木) 10:20～10:30

8月1日(木) 10:30～12:00

『みんなで創る地域包括ケア ～健康になれる環境づくりへ向けて～』

講師：岩渕 光子 看護学部 地域包括ケア講座 教授

8月1日(木) 13:00～14:30

『健やかな育ちと人生を支える"アタッチメント"』

講師：八木 淳子 医学部 神経精神科学講座 教授

8月2日(金) 10:20～11:50

『何が違うの健康食品 ～正しく理解して健康づくり～』

講師：工藤 賢三 薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野 教授

8月2日(金) 13:00～14:30

『脳卒中を知り予防を知れば人生あやうからず』

講師：板橋 亮 医学部 内科学講座 脳神経内科・老年科分野 教授

8月3日(土) 10:20～11:50

特別講演 『今ある日本の医療の危機』

講師：小笠原 邦昭 岩手医科大学 学長

## 【閉講式】

8月3日(土) 11:50～12:00

受講料無料（事前のお申し込みが必要です） 申込締切：令和6年7月26日（金）

申込方法：Fax、郵送で受講申込書をお送りいただくか、申請フォームより申請してください。

申込書は大学ホームページからもダウンロードできます⇒ <http://www.iwate-med.ac.jp/>

申込先：岩手医科大学 全学教育企画課（市民公開講座担当）

〒028-3694 紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

Tel 019(651)5111 (代表) (内線5539) Fax 019(698)1826



共催：矢巾町、矢巾町教育委員会

後援：岩手県教育委員会、盛岡市、盛岡市教育委員会、滝沢市、滝沢市教育委員会、花巻市、花巻市教育委員会、紫波町、紫波町教育委員会、岩手医科大学主陵会、読売新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日報社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手



日時	講座タイトル・講師	内容
8月1日(木) 10:20~10:30	<b>開講式</b>	
8月1日(木) 10:30~12:00	『みんなで創る地域包括ケア～健康になれる環境づくりへ向けて～』 講師：岩淵 光子 看護学部 地域包括ケア講座 教授	どこで暮らしていても「健康で幸せに過ごしたい」、これは子どもから大人まで、障がいがあってもなくても、一人ひとりの共通した願いではないでしょうか。すべての人が自らの健康を大切にして、幸せに生きていくことができるよう、生活習慣や人々のつながりといった社会環境も含めて考えてみたいと思います。
8月1日(木) 13:00~14:30	『健やかな育ちと人生を支える"アタッチメント"』 講師：八木 淳子 医学部 神経精神科学講座 教授	「アタッチメント」とは、イギリスの児童精神医学者ジョン・ボウルビー（John Bowlby）が1960年代に提唱した概念（アタッチメント理論）です。子どもは乳幼児期に主たる養育者から無条件に受け入れられ、愛される経験を通して養育者とのアタッチメントを形成していきます。子どもの人格形成の基盤となるアタッチメントは、様々な能力や資質をはぐみ、その人の生涯に大きな影響を与えます。子どもの育ちを支えるアタッチメントの重要性についてお話します。
8月2日(金) 10:20~11:50	『何が違うの健康食品～正しく理解して健康づくり～』 講師：工藤 賢三 薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野 教授	健康づくりにおいては、バランスの取れた食生活を送ることが大切です。一方、国民の約3割が健康食品やサプリメントを健康維持、栄養補給、病気予防などに利用している現実があり、これらを正しく理解して利用することが大事になります。今回は健康食品やサプリメントの正しい理解とお薬との違い関わりについてお話しさせていただきます。
8月2日(金) 13:00~14:30	『脳卒中を知り予防を知れば人生あやうからず』 講師：板橋 亮 医学部 内科学講座 脳神経内科・老年科分野 教授	「敵を知り己を知れば百戦危うからず」。身近な「敵」である脳卒中の事をよく知り、「己」を守るための予防法を知る事で、脳卒中にならないように、万が一なっても軽く済むようにしなければなりません。脳卒中とはどのような病気なのか、どのような治療法があるのか、そして予防するにはどうすれば良いのか、お話いたします。
8月3日(土) 10:20~11:50	特別講演 『今ある日本の医療の危機』 講師：小笠原 邦昭 岩手医科大学 学長	少子高齢化がいろんなところで、言われています。医療の世界でも少子高齢化は大きな影響を受けています。一方で、問題はそれだけではありません。国が打ち出す施策、たとえば「医師の働き方改革」、「医師初期研修」、「医学研究費減額」等、一般の方があまりご存じないことが日本の医療を危機に陥らせています。このような内容を解説いたします。
8月3日(土) 11:50~12:00	<b>閉講式</b>	

※1日だけの受講や1講座のみの受講も可能です。

- アクセス
- ・JR矢幅駅より徒歩で約30分。(1.4km)
  - ・自家用車でお越しの際は、矢巾キャンパス内の駐車場をご利用ください。(下図参照)

